

令和7年度 萩博物館 下半期展示会展示制作等及び広報宣伝業務 に関する公募型プロポーザル実施要領

1. 趣旨

この実施要領は、令和7年度に萩博物館特別展・企画展開催実行委員会（以下、「実行委員会」もしくは「発注者」という）が開催する令和7年度 萩博物館 下半期展示会展示制作等及び広報宣伝業務の受注候補者を、公募型プロポーザル方式により選定するために必要な事項を定めるものである。

2. 主催者

萩博物館特別展・企画展開催実行委員会

3. 業務の概要

(1) 名称

令和7年度 萩博物館 下半期展示会展示制作等及び広報宣伝業務

(2) 目的

下半期に実行委員会が実施する下記展示会において山口県内及び近隣の中高年男女や修学旅行生等各ターゲット層に訴求する構成・仕掛けを駆使して展示制作等を実施し、展示と連携した広報宣伝を行うことにより、目標来場者数 20,000 人の達成に努める。

①秋期企画展「萩に鉄道がやってきた！-鉄路でつながるニッポン-」（会期：令和7年10月4日～12月7日）

②秋期テーマ展「長州萩藩祖 毛利輝元」（会期：令和7年10月4日～12月7日）

③冬期新収蔵品展「明治時代の人と書」（会期：令和7年12月20日～令和8年1月31日）

④冬～翌春期テーマ展「海を拓いた萩の人々」（会期：令和7年12月20日～令和8年7月5日）

⑤翌春期企画展「萩・夏みかんアドベンチャー」（会期：令和8年3月7日～7月5日）

(3) 内容

下半期に実施する展示会の会場の設計、構造物・パネル・展示映像等の構成・デザイン・加工・制作、会場の設営・撤収のほか、ポスター・チラシのデザイン制作、広報宣伝を行う。詳細は別紙仕様書による。

(4) 期間

契約開始日から令和8年3月23日（月）まで

4. 提案上限額

計 7,600 千円（消費税および地方消費税（以下、「消費税」という）を含む。）

実行委員会が想定する内訳の目安は下記の通りであるが、上限額内であれば増減・組み替えをしても構わない。

【展示制作】 5,400 千円

①「萩の鉄道展」・②「毛利輝元展」 2,348 千円

③「人と書展」・④「海を拓いた人びと展」 742 千円

⑤「夏みかん展」 2,310 千円

【広報宣伝】 2,200 千円

5. 企画提案の内容

(1) 展示会①企画展「萩の鉄道展」・展示会②テーマ展「毛利輝元展」のメインビジュアル案ポスターやチラシをはじめとする各種広報媒体に使用するため、下記のポイントをおさえた展示会①「萩の鉄道展」・展示会②「毛利輝元展」のメインビジュアルを、A2 ポスターに統合した形で掲載することを想定して1案以上作成すること。なお、展示会③「人と書展」、展示会④「海を拓いた人々展」、展示会⑤「夏みかん展」については、メインビジュアルの作成を不要とする。

ア. メインターゲットは中高年男女。ただし、会期が修学旅行シーズンであることを考慮し、中高生及び鉄道好きの子供に訴求することも重要。総じて、これらの人々がみただけで興味が湧き、さらに情報収集をしたり来場したりしたくなるビジュアルとする。

イ. ビジュアルは、現地説明会（下記9参照）にて配布する参考資料①「展示基本計画書」及び参考資料②主要展示物の写真、参考資料③「展示イメージ案」を参照しつつ、単一または複数の資料を素材としてデザインすること。

(2) 各展示会の展示手法のアイデア案

展示会それぞれにおいて、誰もが魅力的に展示を観覧できるような工夫をすること。

特に、展示会①と②は所蔵資料として100年前に「萩鉄道開通」と「毛利輝元公三百年祭」が同時開催することを広報する当時の資料（萩鉄道開通・毛利輝元公三百年祭ポスター <https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/223819>）があることから、今回同時開催するものである。ついては、両展示会が一体的なものとして来館者が理解し、楽しめるよう工夫すること。

展示会①：萩駅・東萩駅開業100年を記念した企画展となるため、萩博物館が所蔵する鉄道関連資料を中心に、開業当時の様子を写真や記録映像を通じて紹介する。別途制作する鉄道模型ジオラマを用いた特設コーナーにおいては、企画展示室からの導線を確保し、親子で楽しめる空間づくりを提案すること。

展示会②：毛利輝元没後400年事業の中核的な催しとして、長年収集してきた館蔵資料を中心に展示。①、②企画展示室を分割して2つの展示会を開催することに伴い、観覧者が違和感なく楽しめるような設えを提案すること。

展示会③：近年、萩市に寄贈された長州萩藩・山口県ゆかりの人物の筆跡を中心とした展示会。木戸孝允・伊藤博文・井上馨・桂太郎ら、おなじみの人物が書いたものを初公開し、彼らの写真やプロフィールも一緒に紹介することで、市民を主対象に郷土愛を醸成する機会とする。

展示会④：日本の漁業近代化に貢献した萩の人々の取り組みを紹介する。主要資料のひ

とつであるミンククジラの骨格標本への照明の当て方を中心に、その他の小型資料の可視性を保ちつつ効果的な展示方法を案すること。

展示会㉔：夏みかんの経済栽培が始まって 150 年を迎えることを記念した展示会となるため、夏みかんの特徴や、栽培・流通・利活用の歴史や文化、観光などの経緯を特集したものとするが、会場では資料を見るだけでなく、親子での体験や学校の探究学習にも使えるよう分かりやすいパネルや仕掛けの提案を求める。また、萩の「まち」に点在する夏みかんゆかりのモノ・コトに触れることのできる行事の提案も行うこと。

(3) 下半期展示会の広報宣伝案

下半期に実施予定の各展示会において、金銭的・時間的制約を考慮し、各ターゲット層へ効果的に訴求できる広報戦略案を下記の前提を押さえて提案すること。

ア. 下期全体を通じて、テレビ CM・SNS 広告・その他の広告媒体を展開させること

イ. 紙チラシと並行して電子チラシを配信する効果的な手法

ウ. 各展示会の来場動向に応じて広報手段を改変・調整すること

展示会㉕：萩市・山口県内の山陰本線沿線に住む萩市民や鉄道に興味のある子供とその保護者をメインターゲットとする。当業務とは別に、山口県内の社会教育施設や商業施設を中心に、展示会㉖「毛利輝元展」と併載のチラシ 3 万枚・ポスター 300 枚を配布する広報宣伝を実施する予定である（詳細は参考資料①－㉕を参照）。

展示会㉖：萩市・山口県内の中高年、戦国武将に関心が高い層をメインターゲットとする（詳細は参考資料①－㉖を参照）。

展示会㉗：萩市・山口県内の中高年男女及び幕末・明治期に関心の高い層をメインターゲットとする。チラシ・ポスターの制作配布は予定していない（詳細は参考資料①－㉗を参照）。

展示会㉘：萩市内および山口県内の中高年および地域学習をしている小学生 3・4 年生をメインターゲットとする。チラシ・ポスターの制作配布は予定していない（詳細は参考資料①－㉘を参照）。

展示会㉙：萩市および山口県内の未就学児から小学生とその保護者、夏みかんに関心のある大人をメインターゲットとする。この業務とは別にチラシ 2 万枚及びポスター 200 枚を配布する広報宣伝を実施する予定である（詳細は参考資料①－㉙を参照）。

エ. 学校を通じた児童・生徒へのチラシ配布を補足・代替できる広報手段

(4) 業務実行スケジュール

展示制作・広報宣伝・関連企画等それぞれ、または総合した業務実行スケジュールを提案すること。

(5) 業務実施体制

展示制作・広報宣伝・関連企画等それぞれ、または総合した人員体制について提案すること。

6. 参加資格要件

この公募型プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる要件の全てを満たす者とする。

(1) 山口県内または隣接県（広島県・島根県・福岡県）に本店・支店・営業所又はその他の事

業所を有する企業、NPO 法人、その他の法人等であって、委託事業を的確に遂行するに足りる能力を有する者。ただし、宗教活動や政治活動を主たる目的とする団体等や、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という）又は暴力団の構成員（以下「暴力団員」という）の統制下にある団体等でないこと。

- (2) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者。
- (3) 会社更生法（平成 14 年法令津第 154 号）に基づく更生手続き開始の申し立て又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく更生・再生手続き中でない者。
- (4) 経営に実質的に関与している者及び使用人が暴力団員に該当しない者。
- (5) 国税、地方税を滞納していない者。
- (6) 過去 3 年間（令和 4 年以降）における類似業務を少なくとも 1 回以上実施した実績を有すること。
- (7) 萩市競争入札参加資格を有する登録業者であること。もしくはこの先のプロポーザル審査会（8 月 4 日）までに萩市競争入札参加資格を取得する見込みがあること。

7. 問合せ先・提出先

萩市 商工観光部 萩博物館内

萩博物館特別展・企画展開催実行委員会事務局 担当：平岡・松尾・道迫・伊藤・國弘

〒758-0057

山口県萩市大字堀内 355 番地

電話：0838-25-6447 FAX：0838-25-3142

Email：muse@city.hagi.lg.jp

8. 参加表明の方法

実施要領を閲覧した後、当プロポーザルへの参加を決定した者、及び参加検討の意思のある者は、下記の要領で書類を提出すること。

(1) 提出書類

ア．参加表明書 1 部（様式第 1 号）

イ．事業者概要及び事業実績 11 部（様式第 2 号）

※ただし、電子データで提出する場合は 1 部のみ提出すること。

(2) 提出方法

持参、郵送、FAX、E-mail や大容量ファイル送信サービス等による電子データの提出をすること（提出した際は電話で確認すること）。なお、土曜日、日曜日、祝日は、提出物の受け付けや電話対応は行わない。

(3) 提出期限

令和 7 年 7 月 8 日（火）正午（必着）

(4) その他

ア．書類の作成や提出に係る費用は提案者の負担とする。

- イ. 書類提出後、個別事項に疑義がある場合は、実行委員会から質問することがある。
- ウ. 提出後の書類を事務局が点検した結果、参加資格要件を満たさないと判断された場合や、虚偽の記載があった場合は、下記の現地説明会及び当プロポーザルへの参加は認められない。
- エ. 後になって書類に虚偽の記載が発見された場合や、下記 11- (1) -ウの納税証明書等が期日までに提出されなかった場合も、当プロポーザルへの参加が認められなくなるので注意すること。
- オ. 参加表明の後に当プロポーザルへの参加を見送ることになった者は、辞退届（任意様式）を上記 7 の提出先へ提出すること。

9. 現地説明会の実施

上記 8 の参加表明をした者は、下記の現地説明会に参加すること。現地説明会では、当業務の仕様書を配布し、実行委員会事務局から特別展に関する補足情報、展示予定会場、設備、什器等の説明を行う他、質疑応答を行う。

(1) 実施日時・場所

令和 7 年 7 月 9 日（水）14 時 萩博物館 講座室

(2) その他

- ア. 現地説明会は参加表明者全員に対し合同で行う。
- イ. 仕様書及び参考資料、企画提案書鑑（様式第 3 号）、質問書（様式第 4 号）は、現地説明会参加者に配布する。
- ウ. 現地説明会に参加した後、当プロポーザルへの参加を見送ると判断した者は、上記 8- (4) -オの辞退届の提出と合わせ、仕様書及び参考資料を上記 7 の提出先へ返却すること。
- エ. 期日までに参加表明をしなかった者や、資料を提出しても内容により資格が認められなかった者は、現地説明会を含めそれ以降のステップに参加できない。
- オ. 上記 8 にて当プロポーザルへの参加資格が認められなかった者は、現地説明会への参加は認められない。

10. 質問の受付

- (1) 当プロポーザルの実施内容等に質問がある場合は、質問書（様式第 4 号）を作成し、令和 7 年 7 月 22 日（金）正午までに、上記 7 の問合せ先にて、持参、郵送、FAX、E-mail や大容量ファイル送信サービス等による電子データの提出により受け付ける（送信した際は電話で確認すること）。なお、基本的に質問は土曜日、日曜日、祝日は受け付けない。
- (2) 質問者には、質問後数日以内に文書等で回答するとともに、質問及び回答内容を萩博物館ホームページに掲載する（URL：<https://hagimuseum.jp/information/>）。

11. 企画提案にかかる書類の提出方法

上記 8 にて当プロポーザルへの参加資格が認められ、上記 9 の現地説明会に参加した者は、下

記の要領で書類を上記 7 の提出先へ提出することができる。

(1) 提出書類

ア. 企画提案書 1 通及びその写しを 11 部

「様式第 3 号」を鑑とし、企画案は鑑を除いて A3 もしくは A4 用紙に片面 20 枚以内、または両面 10 枚以内にまとめて提出すること（企画提案の内容を補足する参考資料を含む）。

また、企画提案書の PDF も E-mail や大容量ファイル送信サービス等により提出すること。なお、企画提案書は 1 者につき 1 案までとする。

イ. 受託費用見積書 1 通及びその写しを 11 部

経費（企画構成経費、デザイン費、制作費、編集費、維持管理費、設営費、撤収費等）の明細を算出し、その経費を記載すること。消費税を差し引いた金額で見積り、消費税相当額込みの金額も括弧書きで併記すること。

ウ. 納税証明書の原本または写し（国税、地方税の滞納がないことの書類）1 通

(2) 提出方法

持参、郵送、FAX、E-mail や大容量ファイル送信サービス等による電子データの提出のみ受け付ける（提出した際は電話で確認すること。）。

(3) 提出期限

令和 7 年 7 月 29 日（火）正午（必着）

(4) その他留意事項

ア. 書類等の作成及び提出に係る費用は提案者の負担とする。

イ. 選定された者の企画提案書に係る著作権及び肖像権については、契約締結時に発注者に移転する。選定されなかった者の企画提案書に係る著作権及び肖像権については提案者に帰属する。企画提案書に係る著作権及び肖像権について問題が生じた場合は、提案者が解決するものとする。

ウ. 企画提案書等の提出後、個別事項に疑義がある場合は、実行委員会から質問することがある。

エ. 参加資格要件を満たさない者が提出した企画提案書等及び虚偽の記載がなされた企画提案書等は無効とするとともに、選定の取り消しを行うことがある。

オ. 企画提案書は 1 者につき 1 案とする。

12. 審査・選考の方法

(1) 令和 7 年度 萩博物館 下半期企画展広報宣伝及び展示制作業務に係る業者選定審査会（以下「審査会」という）を設置し、各社の企画提案書に基づきヒアリング（応募者によるプレゼンテーション及び質疑）を実施し、審査を行う。

ア. 実施日時 令和 7 年 8 月 4 日（月）午後 ※詳細は調整後別途連絡

イ. 実施場所 萩博物館 講座室（山口県萩市大字堀内 355 番地）

ウ. 実施方法

（ア）参加者においては提出した企画提案書を使用してプレゼンテーションを実施し、提案

内容を説明する。また、これに対する質疑に応答する。事前に提出された企画提案書の内容に関すること以外の説明は認めない。

(イ) プレゼンテーションの順番は、企画提案書の提出順とし、時間割等は別途通知する。

(ウ) 各者のプレゼンテーションの後、質疑応答を行う。プレゼンテーションの時間は1者につき15～20分を予定しているが、詳細は調整後別途連絡する。

(2) 審査会は、別途定める審査要領に基づき、各審査員が個別に審査採点し、その点数を合計する方法により得点を算出して最も高い得点を得た者を最優秀提案者（受注候補者）として選定し、最優秀提案者以外の者についても得点順に順位付けを行う。

(3) 審査会への参加に係る旅費等の費用は提案者の負担とする。

(4) 審査において次のいずれかに該当すると判明した場合、その提案者は失格とする。

ア. 提出書類に虚偽の記載があった場合

イ. 審査の公平性に影響を与える行為があったと認められる場合

ウ. 本実施要領及び関係法令において違反した場合

13. 審査結果の通知及び公表

審査結果（提案者本人の順位・得点、最高得点獲得者とその得点）は、提案者全員に文書で通知を行う。なお、審査結果に対する不服の申し立ては受け付けない。

14. 契約の締結

審査会による審査の結果、上記12により最優秀提案者に選定された者と契約締結の協議を行い、契約を締結する。この協議には、企画提案書の趣旨を逸脱しない範囲での内容の変更の協議を含む。協議が不調の時は、上記12により順位付けられた上位の者から順に契約の締結協議を行う。

15. 契約の変更

感染症や災害等の影響により、予定している特別展が中止または会期変更となることも想定され、これに伴う業務の延長や一部中止となる場合は、契約期間や委託料の契約変更を行うこととする。詳細については、契約前に協議を行い決定することとする。

16. 契約の解除

受注者の参加資格要件、企画提案書等に虚偽の記載等が発生したときは、契約を解除することができるものとする。なお、受注者の都合により、発注者が契約を解除するときは、受注者は違約金として契約金額の10分の1に相当する金額を発注者に支払わなければならない。

17. 契約までのスケジュール

契約の締結に至るまでの手続及び時期は次の予定とする。ただし、参加表明書等・企画提案書等提出期限以外は状況に応じて前後する場合がある。

(1) 参加表明の案内：令和7年6月26日（木）

- (2) 参加表明書等の提出期限：令和7年7月8日（火）17時（必着）
- (3) 現地説明会の実施：令和7年7月9日（水）14時
- (4) 質問の受付期限：令和7年7月22日（火）正午（必着）
- (5) 企画提案書等の提出期限：令和7年7月29日（火）正午（必着）
- (6) 審査会の実施：令和7年8月4日（月）午後 ※詳細は別途連絡
- (7) 審査結果の通知：審査会の後3日以内（予定）
- (8) 企画提案等の協議：審査結果通知後ただちに
- (9) 契約締結予定日：8月下旬

18. その他の留意事項

- (1) 使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 提出期限までに参加表明書を提出しない者、現地説明会に参加しない者は、企画提案書等を提出できないものとする。
- (3) 発注者が配布する参考資料、仕様書、及びそれらの内容物を当業務の企画提案以外の目的で使用してはならない。
- (4) 企画提案書類等が提出期限までに提出されない場合は失格とする。
- (5) 上記の書類等の作成、提出及びヒアリング等に要する費用は、その一切を提出者の負担とする。
- (6) 提出された書類等は、返却しない。
- (7) 提出された書類等は、提出者に無断で使用しない。萩市は、本プロポーザル手続き及びこれに係る事務処理に必要な範囲において、これらの書類等の複製、記録及び保存を行う。
- (8) 提出書類の不達又は遅配を原因とする提出者の不利益が生じても、実行委員会はこの責を負わない。提出者は、電話もしくはE-mailの着信確認を行うなどの適切な対策を講じること。
- (9) 提出期限以降における書類や資料等の差し替え及び再提出は認めない。